

記入例

住宅改修が必要な理由書

<基本情報>

利用者	被保険者番号	00000001	年齢	80歳	生年月日	明治 大正 XX年 XX月 XX日 昭和	性別	■男 □女
	被保険者氏名	介護 太郎	要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護			
	住所	渋谷区宇田川町1-1						

作成者	現地確認日	〇〇年 △月 △日	作成日	〇〇年 △月 △△日
	所属事業所	しゅや居宅支援事業所		
	資格 (作成者が介護支援 専門員でないとき)			
	氏名	東京 花子		
	連絡先	3463-1211		

保険者	確認日	区使用欄(記入不要)		
	氏名			

<総合的状況>

利用者の身体状況	たとえば、移動や立ち上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況がどうかを記述する。屋内及び屋外での移動方法（自立歩行・つたい歩き・介助歩行・歩行器利用など）などを記述する。	福祉用具の現状の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
介護状況	家族の状況、主な介護者を含む介護状況を記述する。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修によって利用者・家族は、介護状況、ADL、社会参加など、日常生活をどう変えたいと思っているのか（特に何を希望しているか）、またその効果を記述する。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改修前と改修後、想定される福祉用具の利用状況を確認する。

● 車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 認知症老人排	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● 簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
● その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ _____	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<PIの「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

①改善しようとしている生活動作		②①の具体的な困難な状況(・・なので・・で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修のコメント(・・することで・・が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)		
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉含む) <input type="checkbox"/> 便座か の立ち座り (を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の <input type="checkbox"/> 排泄時 <input type="checkbox"/> 後 <input type="checkbox"/> そ	<p>生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修案の検討の際は全ての行為についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする行為に限定したコメントでよい。 生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って1つずつ見極めること。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を越えられるか」などについても記入する。 ①のし点評価と②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 移動について各行為(排泄・入浴・外出)に共通する内容は、たとえば「排泄」の欄のみに記入し、各行為の欄に重複して記入する必要はない。 	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 手すりの設置 () () () () ()		
入浴	<input type="checkbox"/> 浴 <input type="checkbox"/> 衣 <input type="checkbox"/> 浴 <input type="checkbox"/> 浴 <input type="checkbox"/> 洗 <input type="checkbox"/> 浴 <input type="checkbox"/> 浴 <input type="checkbox"/> そ			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<ul style="list-style-type: none"> 様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。 改修箇所は、場所だけでなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取付箇所まで記述する。 	
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等・装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 便器の取替え () () ()
その他の活動				<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () () <input type="checkbox"/> その他 () () ()

現状の改善を必要とする動作についてし点チェックをする。今回改修の対象でない項目にはし点チェックする必要はない。

①②を記入し、現状の問題点をふまえた上で、改修目的の項目をチェックする。各行為の困難事項を改善するために、どのような改善を行うのか、その方針を記述する。

- 改善方法は「手すりの設置」や「段差解消」という表現ではなくてもよい。「つかまれる所」「つまづかない工夫」「立ち上がりの支え」などの表現でもよい。
- 1つの改修項目が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してもよい。
- 具体的手段については当事者はもちろん、施工者や専門家と一緒に考えることが望ましい。

様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。

改修箇所は、場所だけでなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取付箇所まで記述する。